



巻頭言

医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院
院長・理事長 大西英之

今年も一年を振り返る時が来ました。2016年はあまり何もしていないと思っていたのですが、列挙してみると淡々と色々な事をしてきたのだなと感じました。エクサプレートによる本態性振戦の治療の確立、明石駅前クリニックの工事や開設準備、電子カルテの入れ替え、電動ベッドに総入れ替え、超音波診断機2台購入など医療機器整備、病院前駐車場用地購入、駐車場整備など多くの計画が滞りなく実施できました。これも職員一同が団結して協力していただいた結果であるとあらためて感謝しています。本号は2016年の活動の記録です。ご覧いただければ幸いです。



【エクサプレート 1症例目の様子】



【明石駅前クリニック 正面玄関】

さて、小生も昨秋に古稀を迎えました。老化に起因する手術（白内障と頸椎症）も受け、一応元気になっているもののやはり若い時の様にはいかないことが多くなってきました。メスを置いた脳外科医として、今後何を主にしていくか考えているところです。脳外科は幸せなことに基本的診療科に属しています。認知症、てんかん、不随意運動等の機能的脳神経外科、頭痛外来等の総合脳神経外科外来など勉強することはいくらでもあり、知的刺激に不自由しないと思います。老後は第2の人生と思っています。若く現役の時にできなかった仕事に取り組めるし、趣味にも時間をかけることができるのは幸せなことです。私は立場上、臨床の仕事を少なくし、病院管理も勉強し始めています。

サミュエル ウルマンの有名な青春の詩

青春とは人生のある期間を言うのでは無く、心の様相をいうのだ。優れた想像力、逞しき意志、燃ゆる情熱、怯懦（きょうだ）を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春というのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときに初めて老いがくる、、、

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる

これからはカッコよく第2の人生を謳歌したい。

時間に余裕ができた老後こそ

学問に、読書に、スポーツに、ビューティフル エイジングを
そして心にもおしゃれを、、、

そんなことを考えているこの頃である。

